

曹洞宗海晏山宛陵寺季刊紙

第7号/平成19年新春

はすのは

平成19年1月8日 発行人 浦辺世紀

発行所；海晏山宛陵寺伝道部 〒859-4527 松浦市今福町仏坂免958 宛陵寺

電話；0956-74-0139 FAX；0956-74-1170 e-mail；

環境@powermac64(867) MacOS9.2.2 AppleWorks6.2.8 EPSON LP-S5500



大本山永平寺の勅使門の前にて (H18.11.2)

龍水

永平寺に修行に来る雲水が求めているもの、それは仏教ではなく「仏道」である。仏教とは「仏の説いた教え」であるが、仏道とはその教えを「実際に体験すること」である。雲水はこの寺で、頭ではなく、身体で仏の道をも身につけるべく、厳粛な生活を送るのである◆雲水の生活は、坐禅に始まり、坐禅に終わる日々。その間に朝昼晩のお勤め、食事、作務。これのみを毎日つとめて、真理を体得すべく修行に励む◆真理とは、まっ直ぐということ。まっ直ぐということが仏道だ。そのまっ直ぐを身につけるための基本が坐禅◆坐禅の姿はまっ直ぐである。体がまっ直ぐであるから心もまっ直ぐである。それより他に仏の道を求めるまい。実行しないことには、まっ直ぐが何であるかも解らないのである。(世)

旅の思い出

「大本山総持寺・大本山永平寺と和倉温泉」

平成十八年長崎県第一宗務所主催、第三十五回梅花流奉詠

大会・檀信徒本山研修会に参加させて頂き、お参りできました事は、大変喜ばしい事と感謝致しております。それも御詠歌を習っていたからです。そして、総持寺様で御詠歌を唱えさせてもらえた事が、私にとって一生の宝物と思います。

御詠歌が大好きで、平成六年から習いかけて早いもので十年になります。今では私の生き甲斐となっています。生きている限り御詠歌を唱え続けるつもりです。

永平寺様には三回お参りしましたが、総持寺様には初めてお参りでき、広くて大きくて感動しました。總持寺祖院、大乘寺、富山専門尼僧堂にもお参りできたことが有り難く思いました。永平寺の修行は一つ一つが厳しいものと思いましたが。宛陵寺の方丈様も厳しい中で修行され、立派になられたのだなと思いました。今回の旅行は最高でした。

(吉永房子)

この度は、一般個人の団体では、見学、体験できない旅行を企画していただきました。ありがとうございます。お陰様で普段は参拝できない寺院にも参拝でき、富山専門尼僧堂では、手書きの色紙、お菓子のお土産まで戴いたり、心に残る旅でした。三日間のバス移動での、ガイドさんの若くて初々しく語尾を上げて説明されるお声が、まだ耳元に残っております。

帰ってから数日後、北陸の方は寒気と強風との予報をテレビで見ましたけれど、いい時期に参拝が出来たことを感謝しております。お世話様になりました。ありがとうございます。

(岩佐和子)

平成18年10月31日～11月3日・三泊四日の旅

この度の三泊四日の研修旅行は、日程的にも無理が無く、良かったと思います。

朝四時頃の起床、朝のおつとめ、坐禅、食事などの研修。特に朝のおつとめの中で、先祖への供養として焼香させて頂いたことが、心に残ります。

それにしても、残り少ない人生の中で、このような思い出をいただき、ありがとうございます。

(寺澤初義)

私は本来旅行嫌いで、あまり旅行の経験がありませんでしたが、以前より一度は大本山永平寺と総持寺に、お参りしたい希望がありましたので、今回の研修旅行に妻と二人で参加しました。

初めてのお寺の研修旅行にも拘わらず、予備知識もないままに参加したため、お寺での諸行事の決まり作法に戸惑いました。永平寺、総持寺での三時過ぎの起床。坐禅、食事、便所、風呂場での作法は、これまでに経験したことが無かったことばかりで、厳しさと驚きとに、少しストレスを感じました。

旅行中日の和倉温泉の心地よさ、翌日の兼六園の素晴らしき景色にリラックスでき、緊張が少し解けてくれました。

今回の旅行で、年令とは関係なく、新しい経験の大切さと、修行している若者の姿に接し、心が洗われる思いがしました。心のこもった献詠と、晴天に恵まれた旅行に感謝します。

(井手 計)

今回の旅行は梅花講の皆様方とご一緒させていただきました。初日の大本山総持寺での梅花大会では、気持ちこもった献詠で感激いたしました。

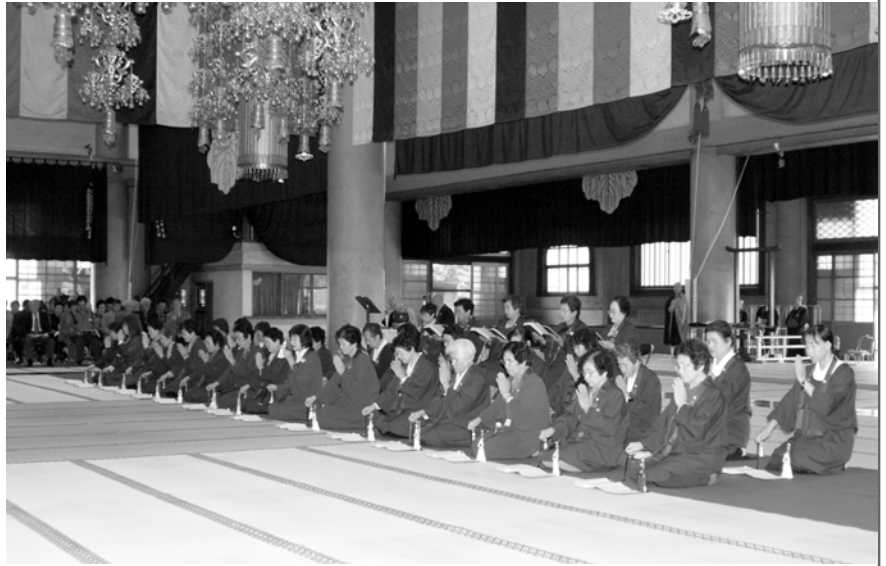
二日目は朝三時過ぎに起床し、坐禅、朝のお勤めに参加し、すがすがしい朝を迎えました。昼過ぎには石川県総持寺祖院し参拝し、生い立ちを聞かせて戴き、大本山総持寺の元寺であった事を知りました。夜は和倉温泉でゆっくり楽しみました。

三日目の大乘寺に行く途中では、日本でただ一つの長い砂浜のドライブウェイを走り、驚きました。

大本山永平寺の参拝は、坐禅、ありがたい講話を戴きました。翌朝は四時半より先祖供養の法要を戴き、その後、七堂伽藍の案内と説明を受け、荘厳で素晴らしい永平寺の一端を知ることが出来ました。

最後の参拝は富山専門尼僧堂で、坐禅堂を見せて戴き、坐禅の様子が少し分かった気がしました。皆様とご一緒が出来、ありがとうございました。

(井手一枝)



(大本山総持寺太祖堂での献詠)

【大本山巡り十句】

禅堂の摺り足過ぎる朝紅葉
廊軋み銀杏散りゆく大伽藍
禅堂へ廊下曉けゆく紅葉寺
尼寺のつましき生活蒸かし芋
禅寺の消灯早き初時雨

露けしや時流れゆく永平寺
寺巡り旅衣解く紅葉宿
静かなる寺苑に揺るる花芒
尼さまのお迎え二人石路の花
寺巡る旅の了りの紅葉晴
(二村中土依)

今回初めて両ご本山参拝の旅行に参加させて頂きました。大本山永平寺・大本山総持寺と他のお寺のご参拝について、修行の寺は坐禅、食事、そのほかいろいろと厳しい修行を朝夕続けていく行事は、実際に体験しないと、一般の人には言葉で伝えてもわからないと思いました。

お説教も詳しく丁寧に話されて良かったと思います。私も厳しい修行の行事で気疲れたが終われば楽になりました。元気で生活している時は再体験をしても良いと思えますが将来はわかりません。

また和倉温泉の一泊も含めて参拝者の融和をもつて和やかに話をしたりして楽しく過ごし、何事もなく帰ることが出来ました。大変良かったです。合掌

(副島茂助)

此の度、大本山永平寺、大本山総持寺団参の御縁を頂き、誠に有難うございました。総持寺太祖堂に御詠歌を奉詠出来ました事は、一生忘れることのできない思い出と成りました。千里浜なぎさの美しい景色にもびっくりしました。名刹總持寺祖院、金沢の大乗寺など、風格のある建物にも感動致しました。両本山の修行僧の方々の姿勢、所作の美しさ、早朝の法要など、ああお参りできて良かったなとしみじみ思ったものです。富山尼僧堂では、心温まるお茶やお芋などを頂き、またお土産まで頂き、人の情にふれて有り難い気持ちでいっぱいでした。

健康に恵まれますればもう一度お尋ねしたいと思っております。御発案なされました宗務所の方々、また菩提寺のご住職様に心より御礼申し上げます。

(天本清幸)

今回の旅では、宛陵寺様には大変お世話になりました。私にとって総持寺の梅花大会は、めったにきくことができないと思っていたので、今回、御詠歌を聞くことが出来て良かったと思います。心にしみ感動いたしました。

永平寺では坐禅をし、食事のマナーもきちんと決まっていることなど、何事も初めてのことので、貴重な体験をさせて頂きました。またいろいろなお話を聞き、これからの日常生活においても、身を引き締めて生活していきたいと考えています。機会があればまた参加させて頂きたいと思っております。どうも、有り難うございました。

(前田チエ子)

秋深まる紅葉の中、大本山総持寺で行われました長崎県梅花流奉詠大会、また大本山永平寺参拝に参加させて頂き、好天氣に恵まれて参拝することができ、心より感激いたしました。

総持寺の広く美しい苑や雄大な建物伽藍を拝しましたとき、禅の限りなく大きいことをしみじみと感じました。太祖瑩山禅師様のお膝元にて、詠讃歌を奉詠出来ましたこと、大変有難く思っております。心に残る思い出になることでしょう。

色々とお世話頂きました方丈様、また参加されました皆様お疲れさまでした。

(立山喜美恵)



(詠題・詠頭を務められたお二人)

今回両大本山参拝の旅に参加させて頂き、ありがとうございます。御座いました。初めての総持寺参拝、お話には聞いていましたが、太祖堂の広さ、この大広間での御奉詠は大変ありがたいひとときを過ごさせていただきました。

二日目の總持寺祖院など、私には初めてのいろいろな寺院参拝が出来、良い思い出作りができた旅でした。

永平寺の方は二度目でしたが、今回は秋の旅で、また良かった永平寺を参拝できましたことも良かったです。思います。初日から最後までお天気に恵まれていい旅でした。皆様お世話になりました。また機会があれば参加したいと思っております。

(末竹須美子)

十月三十一日、大本山総持寺において、長崎県第一宗務所主催ご詠歌献詠大会に合わせて旅を計画され、太祖堂御本尊仏前には、各寺院による献花併せて寺院皆様方による御詠歌の献詠が行われました。緊張の張りつめた空間に流れる響きは有難く、心の中に残ります。

明早朝、和尚様や修行僧の祈りの読経や、転読大般若祈禱法要が行われ、御先祖供養、無病息災等有難い祈りを頂きました。

東京では徳川家の菩提寺である増上寺で、家康、家宣、秀忠、家茂等の霊廟見学が出来



能登空港より總持寺祖院の見学。祖院の偉容を心ゆくまで楽しみ、太祖瑩山禪師御霊を祀り納めている伝燈院など、深い信仰の歴史を感じます。

三日目は大本山永平寺に入山し研修に暮れ、早朝には多くの和尚様修行僧による舍利礼文読経の中に、参拝者全員の先祖供養法要を頂き、清浄なひとときを祈りの喜びで満たし、感激しました。

私は幾度かお参りの中で、初めて仏殿の見学に恵まれました。荘厳な二重屋根の総樗造りで、御本尊に釈迦如来が祀られていて、その最高建築の粹に感動しました。

この度は好天気に恵まれ、皆様方と喜びの旅が出来ました事を、有難く感謝申し上げます。(高橋祐一)

(大本山総持寺での法要)

長崎県梅花流奉大本山奉詠大会に参加し、また檀信徒の皆様方との三泊四日の旅行と、楽しく過ごさせていただきました。

両大本山での宿泊、坐禅、早朝からの先祖代々の大法要、法話と、心に残る思いばかりです。一泊は温泉にてくつろぎ、千里浜ドライブウェイ、金沢兼六園と、天気も良く全員が元気で最高の旅でありました。思い出を本当にありがとうございます。またいつの日か皆様方と旅行が出来ますことを楽しみにしております。(豊村テル子)

秋深まり、好天氣に恵まれ、第三十五回梅花流奉詠大会本山研修会に参加出来た事を光榮に思います。總持寺太祖堂で奉詠する時を迎え、胸がときめき緊張の中で献灯献花が始まり、三宝御和讃が流れて来た時は、心の中が感激し口ずさんできました。

いよいよ自分達が奉詠する時がきて、緊張が解け一生懸命声を上げ唱えました。お釈迦様に感謝しました。

總持寺、増上寺、總持寺祖院、大乘寺と参り、最後に大本山永平寺を参拝しました。夜の坐禅研修や、早朝祈りの中で背筋を伸ばし、姿勢正しい修行僧の舍利礼文の読経の中で、御先祖様の供養が出来ました事、心から有難く感謝し焼香をしました。(高橋恭子)



(芝の増上寺と東京タワー)

先日は両大本山に参拝の旅に参加させて頂き、本当に嬉しく思っております。良いお寺ばかり回って来れましたし、行く先々で楽しく、珍しいお寺ばかりでした。また永平寺にお参りしたときは、雪のない永平寺だったので少し戸惑いしましたが、お寺の中に入ると、やっぱり永平寺だと思いました。

お寺の旅は大変ですが、自分の宗教が身についたと思いい、これからお寺と家の仏様を守っていくよう心がけたいと思っております。和尚様、本当にお世話になり感謝申し上げます。(森山レイ子)

お寺の旅に参加させて頂き有難うございました。旅行中はお天気もおだやかで、帰るまで良い天氣に恵まれて幸せでした。

今度の旅は、總持寺や永平寺、そして大きな立派な寺々に圧倒されるような気持ちでした。お寺の中に入ると、身体もシャキッとしました。また、本堂まで行くのに長い廊下を歩くと、うっかりすると滑りそうで、用心して歩かないと危ないので、掃除の行き届いていること、ごみチリひとつないのには驚きました。

食事も精進料理で、味付けも上品でとても美味しく、残さずに頂きました。朝のお勤めや坐禅も経験しました。

旅の道中、置いていかれないようにがんばりました。ご本山参拝旅行、無事にお参りできたことを大変喜んでおります。皆様お疲れさまでした。

(浦辺陽子)

大本山総持寺、永平寺、和倉温泉の旅に参加でき、主人と共に皆様方と楽しい旅行が出来ました事、厚く御礼申し上げます。

長崎県梅花流奉詠大会、檀信徒本山研修会が行われ、太祖瑩山禅師様の前で奉詠することが出来ました事が、一番の喜びでございます。これも梅花講にお世話になっていたからこそと思いつながら、心の引き締まる思いで、有難くお唱えすることが出来ました。またとない事でしょう。

予定通りあちこち参拝し和倉温泉に着き、夜は塩湯につきり疲れもとれました。砂浜のドライブウェイの中をバスで走る光景は素晴らしかったです。永平寺に着き説明に応じ、初めての事ばかりで緊張づくめでした。坐禅が終わり、和尚様方の読経の音が、永平寺の山内に鐘の音と共に響き、私たちの心が清浄になり、心の修した。

こうして参加できたのも家族のおかげと感謝しながら無事に帰途につきました。
(福浦信子)

この度は、お寺の旅行に参加させて頂き、貴重な体験を致しました。初めて足を踏み入れた総持寺、大乗寺、永平寺、尼僧堂。修行僧の方々の真摯な姿に胸を打たれました。

色々学ばせて頂き、住職様、また皆様大変お世話になり、ありがとうございます。
(川久保栄子)



(永平寺の雲水さんから説明をいただく)

秋の日和の中、初めての大本山総持寺、大本山永平寺、また能登の總持寺祖院と、各地のお寺にも参拝できまして、たくさんの方の感動を戴きました。これも御詠歌を通しての御縁と感謝申し上げます。

思い出されるのはある寺院で、合掌し、お参りできまして有難うございますと礼拝し頭を上げると、「引く」と聞こえたような・・・目の前の吊り紐を引くと「鐘の音色が」今だに忘れられません。

ご本山で御先祖の供養もして戴きまして有難うございました。これから坐禅と御詠歌を通して信仰に生きていきます。主人共々、良い思い出を戴きまして有難うございました。

(迎ミエ子)

両大本山参拝を企画して頂き、参加させて頂き有難うございました。

私事でございますが、主人を亡くしてから、精神的に体調を崩し、何事にも不安で参加できずにいましたが、この度思い切って参加させて頂き、両大本山を参拝し、身近くに仏様に触れた思いがしています。先祖供養もでき、皆様との旅の思い出もでき、ありがとうございます。これを機会に何事にも参加したく思います。

住職様、そして一緒に旅行された皆様、有難うございました。
(近藤ミエ)



(永平寺での坐禅と法話)

御詠歌のご縁で、今回なかなか体験できない所まで入る事が許された両本山での研修、それに両本山に深い関わりのある總持寺祖院と東香山大乗寺を参拝させて戴きました事、有り難く思っております。

ところが色々と体験したものの、これからの私はどのようなそれを活かしていけば良いのか、はっきりわかりません。ただぼんやりとですが今の私の課題は、御詠歌に携わっていく中になにかしら身になっていくのではないかと思えます。

しかし今だに記憶に残っているのは、大乗寺のあの佇まい、山門を抜けて参道を歩いたあの感じは、とても心安らぐ情景でした。

(大石文美子)

一度は総持寺にお参りしたいと思っていました折りも良く、この度同行させて戴きました。両大本山を拝観でき、御先祖様のご供養も盛大に営まれ、御焼香でき感無量でした。

研修会の坐禅は足が痛くて大変でしたが、良い思い出になりました。普通の観光では、寺院も門前でのガイドで終わると思いますが、今回の旅行では、寺内のすべてをくまなく、修行僧の直々のご案内で見学でき、特に良かったです。

護持会や梅花講の皆様には大変お世話になりました。お陰様で楽しい思い出の旅行が出来ました。誠に有難うございました。(田中 亨)

梅花講の先輩の方々のお誘いで入講致し、この度は御本尊様の御前で、梅花献詠の御縁がありましたことは、感概無量でございました。

御本尊様、高祖道元禅師様、太祖瑩山禅師様の御前で、多くの和尚様と御先祖様のご供養で御焼香もでき、このうえもなくありがたく思いました。

坐禅やご法話にて修行させて頂き、ほんのひとことでも実行できたらと思います。

(田中郁子)



(永平寺での朝食)

皆様、原稿ありがとうございます。受け取った順番に掲載しました。

▼ 畳に頭までつけて?? ▲

本堂でお勤めする時に、お経の最初と最後に、御本尊様の正面で、三度つつ礼拝を致しております。「三拝」といわれる作法で五体投地(ごたいとうち)でいたします。両ひざ、両ひじ、頭を畳(床)にべたつと着けてお拝します。これを五輪着地(ごりんちゃくち)ともいいます。「五輪」とは、空・風・火・水・地の(五大)(大宇宙を構成する五つの要素)を表し、もともとは古代インドの宇宙観で、形と命を表現したものです。現在では、五輪塔や卒塔婆、五色の幡などで示されています。

このように、五体(五大)とは、大自然の「ホトケ」の姿、ありのままの真実の姿であります。そのまま自分の生かされている姿であるので、このホトケ(体)が、ホトケ(大宇宙)を拝む姿が「五体投地」の「三拝」であるのです。

具体的にそのやり方は、合掌のまま、まず両ひざをつき、それから上体をかがめて両ひじをつき、そして額をつけます。最後に両手の平を上に向けて耳の横に持ち上げます。手にホトケを捧げ戴くのです。

三世諸仏が拝み合う、最上の祈りの姿。宛陵寺本堂でのお勤めの際には、必ずご一緒に「五体投地」の「三拝」を行ってください。

(世)

【御礼】

十一月三十日、清女会の皆さま、「奉仕作業」にご協力くださりありがとうございました。お陰様で、境内・伽藍ともきれいになりました。
住職合掌

りやくふさつ

【略布薩法要を行っています】

毎月十五日の夜、七時半頃から、近隣の若手の僧侶が集まり「略布薩」という修行を行っています。日常の自分自身を、懺悔して、仏道の成就を仏様に誓う修行です。どなたでも自由に参詣できます。

【教区寒行托鉢】

二月二日(金)午後二時前後、今福町本通りを廻ります。ご縁がありましたら、浄財をお入れください。浄財は全額ボランティア団体に寄付いたします。

【坐禅会】

毎週土曜日、夜七時より坐禅会を行っています。どなたでも無料で参加できます。初めてのの方は、指導いたしますので、二十分前までにお見えください。